

発刊によせて

この度、奈良学園大学教授住本克彦先生の編集による「新しい視点からの教育社会学」のご出版を心からお祝いたします。

新見公立大学のある教授が「住本先生の研究室に入ると子どものムードが一杯ですよ。心が温かくなります」と、私に話したことがあります。住本教授の部屋は明るい子どもたちの写真が溢れているそうです。彼は子どもたちが本当に好きで、子どもたちと心を通わせて教育をされている教育人です。その上、住本教授からは教育に対する熱情がほとばしっています。

現在、文科省が進めている教育学部をはじめ人文系の学部の入学生の縮小や、テクノロジー重視、そろばん勘定重視の教育政策に私は賛成できません。大切なことは人間教育でしょう。霞が関には高学歴の法学、経済、工学関係などの人が多いと思いますが、国民のための、そして、国家の品格のある政治が行われているとは思えないのです。人間教育の欠如だと思います。十分な人間教育と深い教養がなければ世界的に通用しません。教育は寺子屋式で、血の通った人間教育がすべての基礎だと思います。そして、教育は目の前のことだけでなく、10年後、20年後に生きるものでなければならないと考えています。

本書を分担執筆された先生方は、住本教授と教育について同じ考えと目的とを持たれ、教育に熱情を傾けられておられると確信しています。読者が本書の内容を学ぶなかで、教育の深い意味を読みとられ、実践に生かされ、そして、そのような教育を受けたものに生涯にわたってその効果が継続されることを心から祈念いたします。

2022年3月15日

新見公立大学前学長

岡山大学名誉教授

難波 正義

まえがき

社会の急激な変化にともない、子どもを取り巻く環境が大きく変化してきている。社会は常に「便利さ」を求め、科学技術は飛躍的に伸びたが、一方で「心」が置き去りになっているようにも思えてならない。特に教育にあっては、いじめ問題や児童虐待問題等、子どもたちが抱える問題がますます深刻化、複雑化している。

本書は、教職課程にかかわる学修を進めている皆さんを対象にし、子どもが抱える問題やその背景を理解するための理論や最新の知識を学べる内容に編み込まれている。教育現場を熟知し、教育臨床経験等も豊富な執筆者が各章を担当し、現代の教育現場において、教師が必要となる内容を網羅している。教職課程を学ぶ学生の皆さんには、順次読み進めることで、教育社会学の理論と実際に学ぶことができ、教育現場の教師にあっては、最新の教育社会学の知見を学び、実践的な内容に触れることができるように構成している。

まずは、日頃からご薫陶を頂戴している、新見公立大学前学長・岡山大学名誉教授 難波正義先生から巻頭にあたったの過分なお言葉を賜り、重ねて、「共生社会」実現に向けての大きなきっかけとなる貴重なテーマでのご寄稿論文までご惠贈頂き、身に余る光栄でございます。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

本書では、難波先生のご寄稿論文を起因として、社会の動向を基に教育のあるべき姿を探り、その様相を明らかにしようとする取り組みをしている。第1章では、「教育社会学へのアプローチ」のテーマで、教育社会学の理論的背景について探る。第2章では、「教育社会学から見たカリキュラム」と題し、カリキュラムをマネジメントすることの意味について学ぶ。

第3章では、主題を「キャリア教育と教育機会」とし、キャリア教育の意義や教育機会の平等性についての学びを進める。第4章では、「現代社会における高等教育」の題目で、現代社会における高等教育の意義や、その機会・質

の保障等について、第5章では、「子どもの福祉と教育」と題し、福祉の視点から見た教育社会学の内実に迫る。第6章では「多様化する家族のあり方」のテーマで、家庭の教育力の低下や近代家族の様相について概観する。第7章では、いじめ問題への適切な対応の仕方等について学ぶ。第8章では、不登校の現状やその効果的支援等について、第9章では、「子どもとメディア利用」と題し、現代の子どもとメディア利用の現状やその対策等についての学びを進める。第10章では、「特別支援教育」のテーマで、特に特別支援教育の歴史の流れから教育社会学を見つめ、インクルーシブ教育が目指すものとして、先進的事例についても紹介している。第11章では「マイノリティとジェンダー」と題し、社会的弱者の視点から「公正」の在り方について探り、これらのテーマが教育のあり方に大きくかかわっていることを学ぶ。第12章では、「大学教育の今」のテーマで、大学教育の現況と課題、改革への方途を探る。第13章では、「共生社会」の実現の方途を探ろうとする、これからの教育社会学を展望していく。なお、本書の編集にあたっては、各章、各コラムの執筆者の専門性を尊重した表記となったことを付記する。

めまぐるしく変化する社会の情勢を的確に捉える必要性や、最新の教育改革の現状、様々な援助・支援スキルを身に付ける必要性が一層増してきている現況にあって、本書が、日々尊い教育実践を重ねる教師や、将来教職を目指す学生の皆さんの今後の教育活動の一助になることを願っている。

最後に、本書の編集にあたっては、大学教育出版社長の佐藤 守氏、営業部長の佐藤宏計氏には多大なるご尽力を頂いた。衷心より感謝申し上げる。

令和4年3月

奈良学園大学 教授

住本 克彦

新しい視点からの教育社会学
— 人間形成論の視点から —

目 次

発刊によせて	難波 正義…i
--------------	---------

まえがき	住本 克彦…iii
------------	-----------

特別寄稿 環境教育のための資料例

— 環境プラ塵問題／私たちの2つの実験 —	難波 正義…1
-----------------------------	---------

要 旨 1

1. プラスチック問題の現状 1

2. 二つの実験 3

3. あとがき 5

謝 辞 6

第1章 教育社会学へのアプローチ 岡本 恵太…8

1. 教育社会学とはどんな学問か 8

(1) 教育と社会のつながり 8

(2) 教育社会学的に授業を観察する 10

2. 教育学と教育社会学 12

(1) 教育社会学は教育学でもあり、社会学でもある 12

(2) 教育社会学における価値と事実 14

3. 教育社会学のあゆみから、その見方・考え方をとらえる 15

(1) デュルケームに学ぶ、教育社会学の見方・考え方 15

(2) 現代までの教育社会学のあゆみ 19

コラム① オンライン授業の可能性 28

第2章 教育社会学から見たカリキュラム 森 一弘…29

1. カリキュラム構成の基本 29

2. カリキュラム・マネジメント 30

(1) カリキュラム・マネジメントの背景 30

(2) 学習指導要領からみたカリキュラム・マネジメント 33

- 3. カリキュラム・マネジメントの取組 36
 - (1) 学校評価がカリキュラム・マネジメントのはじまり 36
 - (2) 育成を目指す「子どもの姿」を具体的に示す 38
 - (3) 学校で育成する資質・能力の設定 39
- 4. まとめ 40
- コラム② 教職員の働き方改革 43

第3章 キャリア教育と教育機会…………… 小泉 令三…44

- 1. わが国のキャリア教育 44
 - (1) キャリア教育とは 44
 - (2) 基礎的・汎用的能力 45
 - (3) 初等・中等教育におけるキャリア教育 47
 - (4) 高等教育におけるキャリア教育 47
- 2. 教育機会の平等 51
 - (1) 日本の学校制度 51
 - (2) 高等教育のユニバーサル化 52
 - (3) 教育機会の格差 53
 - (4) リカレント教育 59
- コラム③ 今後のキャリア教育の行方 63

第4章 現代社会における高等教育…………… 定金 浩一…64

- 1. 高等教育とは 64
 - (1) 高等教育とは 64
 - (2) 高等教育の量的拡大 66
- 2. 高等教育の機会・質の変容 71
 - (1) 高等教育の質の変容 71
 - (2) 学歴社会と賃金 71
 - (3) 女性の社会進出と高等教育 72
 - (4) 奨学金制度 74

3. 今後の高等教育 76
 - (1) 高等教育のグランドデザイン（答申） 76
 - (2) 不本意入学 79
- コラム④ 令和の日本型学校教育 81

第5章 子どもの福祉と教育 …………… 山口 裕毅…82

1. ペスタロッチーの教育実践 82
2. 子どもの権利 84
3. 子どもの貧困 85
4. ヤングケアラー 88
5. 児童虐待 91
6. 教師の役割と関係機関との連携 93
- コラム⑤ 体育・スポーツにおける体罰問題 97

第6章 多様化する家族のあり方 …………… 坂中 尚哉…98

1. 家庭の教育力の低下 98
 - (1) 家庭教育をめぐる現状と課題 99
 - (2) 家庭の教育力を高めるための学校・家庭・地域との連携 100
 - (3) アウトリーチ型の取組事例 101
2. 近代家族の様相 102
 - (1) 共働き世帯の推移 103
 - (2) 結婚、離婚、再婚と子育て 105
 - (3) 少子化と子育て環境 107
3. おわりに 112
- コラム⑥ 環境教育の今 115

第7章 いじめ問題への対応 …………… 住本 克彦…116

1. いじめ問題への対応 116
 - (1) はじめに 116

- (2) 文部科学省のいじめ防止対策の現状 117
- 2. 「いじめ防止教育プログラム」の開発に向けて 121
 - (1) 「開発的教育相談」推進の重要性 121
 - (2) いじめ問題に立ち向かう学級づくり・学校づくりのポイント 123
 - (3) 「いじめ防止教育プログラム」実践時の留意点 124
- 3. おわりに 128
- コラム⑦ 道徳教育といじめ防止 131

第8章 不登校児童生徒支援のあり方 …………… 住本 克彦…132

- 1. はじめに 132
- 2. 不登校支援のポイント 133
- 3. 開発的カウンセリング技法を使って豊かな友人関係を育む—SGEによる教育効果— 135
 - (1) 構成的グループエンカウンターとは 135
 - (2) 自尊感情を高め、対人関係能力を高めることで不登校の予防や支援を
136
 - (3) 自分のよさや友だちのよさに気づく体験 137
 - (4) シェアリングによる体験の共有化を図る 137
- 4. 三段階での不登校支援 139
 - (1) 予防的対応 139
 - (2) 危機発生時緊急対応 140
 - (3) 不登校における事後対応のポイント 140
- 5. おわりに 141
- コラム⑧ 不登校児童生徒支援のために—適応指導教室の活動から 144

第9章 子どもとメディア利用 …………… 斎藤 健司…146

- 1. メディア 146
 - (1) 第4の空間 146
 - (2) メディアの変遷 146

- (3) メディアの変化がもたらすもの 147
- 2. メディアリテラシー 148
 - (1) メディア情報との向き合い方 148
 - (2) メディア情報は誰かが作っている 148
 - (3) 情報の読み取り方 149
 - (4) 人を対象とした研究結果の解釈 149
 - (5) 新しいメディアを対象とした研究結果の解釈 150
- 3. 子どもとメディア利用に関する調査・提言 151
 - (1) 青少年のインターネット利用環境実態調査 151
 - (2) 幼児期から小学校低学年の親子の実態調査 151
 - (3) 子どものメディア利用に関する提言 153
- 4. 子どもとメディア利用に関する問題 155
 - (1) ネット上のいじめ・誹謗中傷 155
 - (2) スマホ依存・ゲーム依存 156
 - (3) 性犯罪被害 156
 - (4) 課金トラブル 157
 - (5) 情報漏えい 157
 - (6) 著作権侵害 157
- 5. まとめ 158
- コラム⑨ GIGA スクール構想 160

第10章 特別支援教育…………… 立浪 朋子・住本 克彦・岡部 康英…161

- 1. 教育社会学と特別支援教育 161
- 2. インクルーシブ教育が目指すもの 165
 - (1) 「共生社会」の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 165
 - (2) 「多様な学びの場」を整備し、生涯にわたって一人ひとりの教育的ニーズに添えていく 167
 - (3) おわりに 174

コラム⑩ アクティブ・ラーニングと学習指導要領 178

第11章 マイノリティとジェンダー …… 善野 八千子…179

1. マイノリティとジェンダーを学ぶ意義 179
 - (1) 学校教育とマイノリティ 180
 - (2) 外国人とマイノリティ 181
 - (3) 性的マイノリティ 183
 2. ジェンダーと教育 185
 - (1) 国内における女性の人権の歴史 186
 - (2) 各国における男女格差 186
 - (3) 教員とジェンダー 188
 - (4) ヒドゥン・カリキュラムとジェンダー 189
 - (5) 高等教育進学とジェンダー 191
 - (6) 就職活動及びその後のキャリア形成とジェンダー 192
 3. マイノリティとジェンダーを自分事として考え続けるために 195
- コラム⑪ SDGsと学校 198

第12章 大学教育の今 …… 金山 憲正…199

1. 18歳人口減少の波と大学経営 199
 - (1) 大学を取り巻く厳しい環境 199
 - (2) 大学教育の質向上に向けた改革の必要性 203
 - (3) 大学教育の質保証に向けた改革 204
 2. 社会が求める学生像 208
- コラム⑫ プログラミング教育 213

第13章 これからの教育社会学

— 人間形成としての「自己実現」を図るために —

…………… 住本 克彦…214

1. はじめに 214

2. 「共生」を志向する世界・社会の動き	218
(1) 「ウェルビーイング」と「共生社会」の実現	218
(2) 持続可能な社会を築くために：求められる SDGs の達成	219
3. 共に生きる社会に向けた教育	222
(1) 「共生する心」を育てる	222
(2) 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」（令和3年1月26日中央 教育審議会答申）の概要	224
4. 他の教育改革に関連する動き	227
(1) 児童生徒の「学びの保障」のために	227
(2) コロナ禍における学校教育の実践とその留意点	227
(3) 求められるアフターコロナを見据えた教育実践	228
(4) 「社会に開かれた教育課程」の実践を重ねること	229
5. おわりに	230
コラム⑬ 学校の新しい生活様式	233